

農林水産統計だより

統計調査に関するお知らせ

統計調査へのご理解、ご協力をお願いします

統計トピックス

令和6年10月から12月までに実施予定の統計調査を掲載

これからの主な公表予定、水稲の8月15日現在における作柄概況

管内の農林水産業の風景



愛知県弥富市 水稲



岐阜県高山市 もも



三重県伊賀市 日本なし

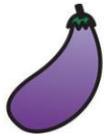
農林水産統計調査へのご理解、ご協力をお願いします

令和6年10月から12月に調査を行っている主な農林水産統計調査は以下のとおりです。

なお、★印の統計調査は、統計調査員や専門調査員が、調査客体を訪問したり、ほ場で実測することがあります。

調査にあたっては、調査客体へ事前に連絡し訪問の了解を得た上で、地域の方々に不審を抱かれないように調査員証を携帯し、緑のビブスを着用して行っています。

引き続き農林水産統計調査へのご理解、ご協力をお願いいたします。



令和6年10月から12月までに実施予定の農林水産統計調査一覧

調査名	実施時期	調査対象	調査手法	調査の概要
★ 農業経営統計調査	年間随時 (決算期等)	個人経営体 法人経営体	職員又は 専門調査員調査	1年間の事業収支、販売金額、労働時間等の経営実態、費目別の費用、労働時間、品目別原単位量を把握
★ 漁業経営統計調査	年間随時 (決算期等)	個人経営体 法人経営体	職員又は 専門調査員調査	1年間の事業収支、販売金額、労働時間等の経営実態を把握
★ 農産物価統計調査	毎月	農協等	調査員、郵送、 オンライン調査又は FAX調査	農産物生産者価格・農業生産資材価格を把握
農道整備状況調査	11月～12月	市町村	オンライン調査	農道延長距離等を把握
★ 作況調査（水稲）	7～11月	作況標本筆	職員又は 専門調査員調査	水稲の10a当たり収量、収穫量、作況指数等を把握
作況調査 (麦類、茶、果樹、野菜、陸稲、大豆、そば、かんしょ、なたね、飼料作物、豆類、こんにゃくも)	年間随時 (収穫期等)	標本経営体 集出荷団体 荒茶工場等	郵送又は オンライン調査	作物毎の作付面積、10a当たり収量、収穫量、出荷量等を把握
★ 水稲以外作物の 作付面積・作柄の把握	毎月	標本単位区	専門調査員調査	水稲以外の農作物の作付面積及び作柄を把握





令和6年10月から12月までに実施予定の農林水産統計調査一覧（つづき）

調査名	実施時期	調査対象	調査手法	調査の概要
油糧生産実績調査	毎月	植物油脂製造工場	民間事業者による郵送、オンライン調査又はFAX調査	原料の処理量及び月末在庫、油脂や油かすの生産量及び月末在庫を把握
花木等生産状況調査	12～2月	集出荷団体等	民間事業者による郵送、オンライン調査又はFAX調査	花木類の作付面積、出荷数量、出荷額及び花木類計の実栽培農家数を把握
特用林産物生産統計調査	9月～2月	特用林産物の生産者	職員、調査員、郵送、オンライン調査又はFAX調査	きのこの生産量、生産者数等を把握
木材統計調査 木材価格統計調査 (月別調査)	毎月	標本製材工場等 標本卸売市場等	民間事業者による郵送、オンライン調査又はFAX調査	素材入荷量、消費量及び月末在庫量 木材の価格水準及びその変動を把握
畜産物流通調査（月別調査）	毎月	と畜場 食肉中央卸売市場等	民間事業者による郵送、オンライン調査又はFAX調査	畜産物のと畜頭数、流通量等を把握
食品循環資源の再生利用等 実態調査	10月～12月	食品産業	民間事業者による 郵送又はオンライン調査	食品廃棄物の等の発生状況等を把握



統計トピックス

これからの主な公表予定

令和6年度に農林水産省が公表する主な農林水産統計についてお知らせします。
公表した結果については[農林水産省Webサイト](#)に掲載します。



公表資料名	公表時期
令和6年産水稻の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量	10月
令和6年耕地面積（7月15日現在）	10月
令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量	11月
令和6年産水陸稲の収穫量	12月
令和5年農業総産出額及び生産農業所得（全国・都道府県別）	12月

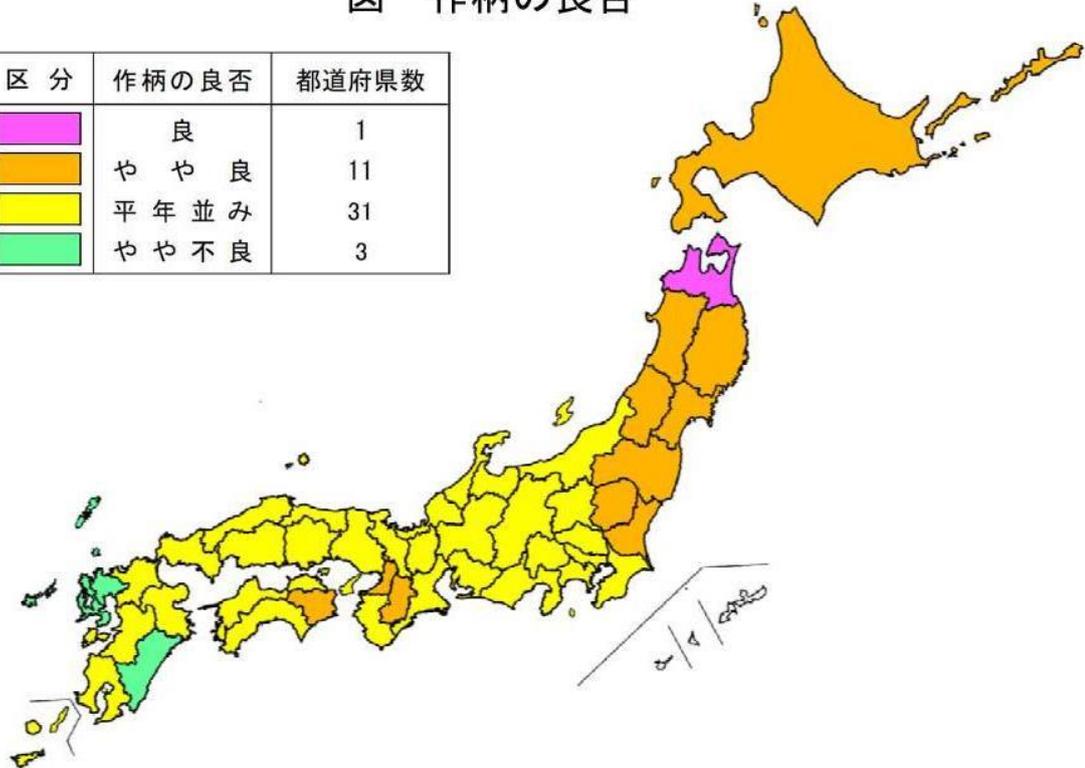
令和6年産水稻の8月15日現在における作柄概況を公表しました

令和6年産水稻の8月15日現在における作柄は、「良」が1県、「やや良」が11道府県、「平年並み」が31都府県、「やや不良」が3県の見込み。

注： 気象データ及び人工衛星データから作成される予測式に基づき予測。

図 作柄の良否

区分	作柄の良否	都道府県数
	良	1
	やや良	11
	平年並み	31
	やや不良	3



- 注： 1 作柄の良否の表示区分は、「良」が対平年比106%以上、「やや良」が105～102%、「平年並み」が101～99%、「やや不良」が98～95%に相当する。
2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの作柄の良否である。
3 沖縄県については、第二期稲が田植終期に達していないため表章していない。

公表した結果については[農林水産省Webサイト](#)に掲載されています。

地域の農業を見て・知って・活かすDB（データベース）



「地域の農業を見て・知って・活かすDB」は、農業集落（全国約15万）を単位として、農林業センサスの結果と各種情報とを組み合わせ、農林水産省が独自に加工・再編成し、オープンデータとして提供しておりますので皆様ご利用ください。
不明な点がございましたら東海農政局統計部統計企画課までお気軽にご相談ください。

本データベースのダウンロード方法等は[農林水産省Webサイト](#)からご覧ください。

編集・発行、お問合せ先

東海農政局統計部統計企画課

〒466-0857 名古屋市昭和区安田通4-8

TEL : 052-763-4730

<https://www.maff.go.jp/tokai/tokei/index.html>

